

9月・10月の管理ポイント

長梅雨の影響による日照不足で芝生が軟弱になっています。
糖類などを補給してしっかりした芝生を造っていきましょう。



サッチ・リムーバー

サッチ層の除去には...

9月の更新作業時に処理することにより、グリーンของサッチ層を軽減しましょう。
他の微生物由来のサッチ分解剤とは異なり、酵素を主体としているので土壌中でも安定して働きます。
従って農薬類の混用や近接散布が可能。
使用量：1~2 g/m² 0.5 ㎡/m²散布 使用回数：月1~2回



ブイボン乳剤・ダイアジノンSLゾル

害虫多発生時のローテーション散布の一剤として...

9月、10月はスジキリヨトウ(クシナシスジキリヨトウ)の3化期(クシナシは3,4化期)幼虫の発生をはじめ、ツトガ幼虫、コガネムシ幼虫、シバオサゾウムシ幼・成虫と多種の害虫が活発に活動する時期です。
殺虫剤の散布回数が増える時期ですから、薬剤の抵抗性対策としてローテーション散布を行ないましょう。
又、更新作業の時にダイアジノンSLゾルを処理しておけば、コガネムシの3齢幼虫対策となります。
使用量：ブイボン乳剤 2000倍 0.3 ㎡/m²、ダイアジノンSLゾル 250倍 0.7~1 ㎡/m²



グリーンメカ

日照不足で減少した貯蔵糖類を補うために...

7月、8月の日照不足の影響で芝生の中の糖類が不足気味です。
グリーンメカを処理することによって、貯蔵糖類を蓄え、しっかりしたグリーンを造っていきましょう。
使用量：5~10ml/m² 1 ㎡/m²以上



ジェイサン

グリーンのスズメノカタビラ対策に...

スズメノカタビラの発生が9月上旬からはじまります。
スズメノカタビラ対策としてグリーンに使用して下さい。
安全性の高い土壌処理剤ですので、グリーンにも安心して使用して頂けます。
使用量：1~2ml/m² 0.2~0.4 ㎡/m²



みみんず水和剤

ミミズの糞塚防止には...

9月、10月は気温も下がり、ミミズが活発に動き回り糞塚が多くなる時期です。
使用する時は、降雨後や朝か夕方の散布がお奨めです。
使用量：1000倍 2 ㎡/m²

シーズン後半のヨトウには 注意が必要です！！

今年は、長梅雨の影響もあり、シーズン前半はヨトウによる被害も少なく、害虫全般の発生も少ない状況でした。

しかし、気候も安定してくる9月、10月は芝生の生育も良くなりますが、害虫にとっても快適な環境になります。

特に、スジキリヨトウ、クシナシスジキリヨトウといった鱗翅目害虫は、3化期、4化期目の成虫が発生し、発生数も一気に増加します。

クシナシスジキリヨトウ

形態的には、スジキリヨトウと酷似しているヨトウ種だが、気温が上昇すると生育スピードが早くなり、スジキリヨトウよりも発生回数が多くなる。両種が混在しているゴルフ場などでは、それぞれ別々に発生ピークが見られる可能性が高いので注意が必要。



スジキリヨトウ幼虫



クシナシスジキリヨトウ幼虫

幼虫：背面の模様が三角形なのがスジキリ、三日月型なのがクシナシ。



スジキリヨトウ成虫



クシナシスジキリヨトウ成虫

成虫：オス成虫の触角の形態が異なる。
スジキリ：両櫛歯型(ギザギザに見える)
クシナシ：弱い鋸型(まっすぐに見える)